

生育診断ほ調査結果と今後の管理

令和 8 (2026) 年 7 月 13 日

芳賀農業振興事務所

〔出穂期予測〕

- ・ コシヒカリ：前年より 2 日程度遅くなると予想
- ・ とちぎの星：前年より 1 日程度遅くなると予想

〔今後のポイント〕

- ・ 高温が予想されるので、こまめな間断かん水とする。
- ・ イネカメムシの被害に要注意(出穂期防除が必要)

1 現在の生育状況

【水稻生育診断ほ調査結果】 調査日：7/6、品種（施肥）：コシヒカリ（全量基肥）

〃：とちぎの星（側条施肥）

調査地点	品種	移植日	草丈 (cm)	茎数 (本/m ²)	葉齢	葉色 (葉色板)	幼穂長 (mm)	生育診断値 (葉色×茎数)
芳賀町 東水沼	コシヒカリ	5/5	72.3	388	12.5	3.5	0.8	1,359
			95%	86%	+0.3	+0.1	-0.9	88%
真岡市 清水	とちぎの星	5/9	62.3	531	10.8	3.5	0.4	1,860
			89%	101%	-0.5	±0	+0.1	100%

※下段は平年比及び平年差

【コシヒカリ】

- ・ 草丈：平年より低い
- ・ 茎数：平年より少ない
- ・ 葉齢：平年と比べて 0.3 枚多い
- ・ 葉色：平年同様
- ・ 出穂期：7/30 出穂予想（前年+2日）

【とちぎの星】

- ・ 草丈：平年より低い
- ・ 茎数：平年同様
- ・ 葉齢：平年と比べて 0.5 枚少ない
- ・ 葉色：平年同様
- ・ 出穂期：8/1 出穂予想（前年+1日）

2 今後の管理

(1) 水管理

- ・ 今後も水管理は、**間断かん水が基本**
- ・ 出穂期（ほ場全体の 4～5 割が出穂）頃は、水稻が最も水を必要とする時期なので、かん水の間隔を短くして、水を切らさないよう注意しましょう

イネの生育ステージごとの水を入れるタイミング

生育ステージ	水を入れるタイミング
目標茎数確保前～出穂期前	ほ場の足跡に水が残るくらい
出穂期前～開花期頃	田面が露出する前 (水がなくならないように注意！)
開花期～出穂後 30 日	水が完全に無くなる前 (出穂後 30 日までは早期落水をしない)

(2) イネカメムシ及びその他斑点米カメムシ対策

- ・イネカメムシは、斑点米カメムシ類の一種で、稲の出穂期頃の加害で不稔を、乳熟期頃の加害で斑点米を生じさせる被害の大きな害虫です。今後の発生を予測するために行った越冬調査（R 8年 2月）では、芳賀郡全市町で発見されており、被害が懸念されます。

【薬剤防除】

- ①不稔防止のためには、出穂期に液剤を散布します。
- ②斑点米防止のためには、乳熟期（出穂期 7～10日後頃）に液剤を散布します。
その後も発生が認められる場合には、追加防除を実施します。

【除草】

- ①水稻の出穂 2～3週間前と出穂期頃の 2回除草を行います。
- ②水田畦畔、農道、休耕田等のイネ科雑草を結実させないように管理します。



イネカメムシ（成虫）



図1 斑点米カメムシ類防除のイメージ

3 気象の経過

R8 真岡 アメダスデータ

期間 6/22～ 7/5	日平均気温(℃)			積算降水量(mm)			積算日照時間(時間)		
	本年	平年	平年差	本年	平年	平年比	本年	平年	平年比
	21.7	22.4	-0.7	97.5	83.5	118%	30.0	52.5	58%

- ・平均気温は、平年より 0.7℃低かった
- ・積算降水量は、平年比 118%と多かった
- ・積算日照時間は、平年比 58%と少なかった

7月～8月は「農作業中の熱中症による死亡事故」が集中します。

夏の農作業で、以下のことに気をつけましょう。



- ・日中の気温の高い時間帯の作業は控えましょう。
- ・こまめな休息、水分補給を行いましょう。
- ・体調不良の症状がみられたら、すぐに作業を中断しましょう。